

平成25年度 定期作況報告

(11月20日 最終)
(畑作の部 気象概況訂正後)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

本年の根雪終日は4月20日で平年より12日遅く、晩霜は5月9日で平年より2日遅かった。
 4月：平均気温は4.9℃で平年より0.8℃低く、降水量は平年の98%、日照時間は平年の71%であった。
 5月：平均気温は10.1℃で平年より1.5℃低く、降水量は平年の105%、日照時間は平年の76%であった。
 6月：平均気温は16.8℃で平年並、降水量は平年の87%、日照時間は平年の112%であった。
 7月：平均気温は21.4℃で平年より1.7℃高く、降水量は平年の44%、日照時間は平年の125%であった。
 8月：平均気温は22.3℃で平年より0.4℃高く、降水量は平年の135%、日照時間は平年の90%であった。
 9月：平均気温は17.6℃で平年より0.2℃低く、降水量は平年の156%、日照時間は平年の88%であった。
 10月：平均気温は11.5℃で平年より0.5℃高く、降水量は平年の110%、日照時間は平年の80%であった。

本年の降雪初日は11月11日で平年より3日遅かった。

以上、農耕期間の5月から9月についてまとめると、気温は、5月上、中旬、6月下旬、8月下旬および9月上旬は低温であったが、5月下旬、6月中旬、7月上、中旬および8月中旬はそれぞれ高温に推移した。降水量は、8月、9月は平年より多く、6月、7月は少なく推移した。日照時間は6月、7月は平年より多く、他は平年より少なく推移した。

気象表

月旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4月上旬	4.0	3.4	0.6	7.9	7.8	0.1	-0.2	-1.1	0.9	26.0	13.7	12.3	41.7	57.6	△ 15.9
中旬	4.2	5.9	△ 1.7	8.1	11.0	△ 2.9	1.1	1.2	△ 0.1	14.0	19.1	△ 5.1	42.4	57.6	△ 15.2
下旬	6.5	7.9	△ 1.4	10.5	13.1	△ 2.6	3.2	3.1	0.1	19.0	27.4	△ 8.4	34.0	50.8	△ 16.8
4月平均・積算	4.9	5.7	△ 0.8	8.8	10.6	△ 1.8	1.4	1.1	0.3	59.0	60.2	△ 1.2	118.1	166.0	△ 47.9
5月上旬	6.0	10.5	△ 4.5	10.5	16.0	△ 5.5	1.9	5.5	△ 3.6	36.5	30.3	6.2	53.3	62.5	△ 9.2
中旬	9.8	11.2	△ 1.4	14.9	16.8	△ 1.9	5.9	6.2	△ 0.3	31.5	22.6	8.9	31.0	64.4	△ 33.4
下旬	14.5	13.2	1.3	20.5	18.8	1.7	9.7	8.5	1.2	9.5	21.0	△ 11.5	66.6	70.8	△ 4.2
5月平均・積算	10.1	11.6	△ 1.5	15.3	17.2	△ 1.9	5.8	6.7	△ 0.9	77.5	73.9	3.6	150.9	197.7	△ 46.8
6月上旬	16.0	15.1	0.9	23.3	20.9	2.4	11.1	10.4	0.7	0.5	11.6	△ 11.1	102.4	65.0	37.4
中旬	18.1	16.6	1.5	22.8	21.9	0.9	14.9	12.4	2.5	28.5	25.2	3.3	39.6	58.8	△ 19.2
下旬	16.3	18.6	△ 2.3	21.5	24.1	△ 2.6	12.1	14.5	△ 2.4	22.0	22.0	0.0	61.6	58.8	2.8
6月平均・積算	16.8	16.8	0.0	22.5	22.3	0.2	12.7	12.4	0.3	51.0	58.8	△ 7.8	203.6	182.6	21.0
7月上旬	22.0	19.0	3.0	26.8	24.1	2.7	18.0	15.4	2.6	19.0	34.9	△ 15.9	61.9	50.7	11.2
中旬	20.8	19.3	1.5	27.0	23.7	3.3	16.8	15.9	0.9	0.0	42.4	△ 42.4	80.3	45.9	34.4
下旬	21.5	20.8	0.7	26.0	25.7	0.3	18.1	17.2	0.9	28.0	29.3	△ 1.3	50.8	58.2	△ 7.4
7月平均・積算	21.4	19.7	1.7	26.6	24.5	2.1	17.6	16.2	1.4	47.0	106.6	△ 59.6	193.0	154.8	38.2
8月上旬	22.7	22.8	△ 0.1	27.5	27.7	△ 0.2	19.2	19.2	0.0	19.5	40.8	△ 21.3	59.8	55.9	3.9
中旬	24.3	21.9	2.4	28.3	26.6	1.7	21.7	18.3	3.4	70.0	58.0	12.0	43.8	52.9	△ 9.1
下旬	19.9	20.9	△ 1.0	24.6	25.7	△ 1.1	16.5	16.9	△ 0.4	103.5	43.9	59.6	49.2	61.8	△ 12.6
8月平均・積算	22.3	21.9	0.4	26.8	26.7	0.1	19.1	18.1	1.0	193.0	142.7	50.3	152.8	170.6	△ 17.8
9月上旬	19.0	20.1	△ 1.1	23.1	25.0	△ 1.9	15.6	16.0	△ 0.4	55.0	64.9	△ 9.9	43.0	51.7	△ 8.7
中旬	18.9	18.5	0.4	23.5	23.5	0.0	14.4	13.9	0.5	119.0	42.2	76.8	47.7	57.0	△ 9.3
下旬	14.9	14.9	0.0	19.6	20.0	△ 0.4	9.7	10.2	△ 0.5	54.0	39.3	14.7	52.9	55.0	△ 2.1
9月平均・積算	17.6	17.8	△ 0.2	22.1	22.8	△ 0.7	13.2	13.4	△ 0.2	228.0	146.4	81.6	143.6	163.7	△ 20.1
10月上旬	15.0	12.7	2.3	19.6	17.8	1.8	10.3	8.0	2.3	8.5	41.6	△ 33.1	45.2	50.5	△ 5.3
中旬	10.1	11.2	△ 1.1	14.7	16.1	△ 1.4	5.2	6.5	△ 1.3	68.0	28.4	39.6	31.2	48.4	△ 17.2
下旬	9.5	9.1	0.4	13.6	13.4	0.2	5.4	4.7	0.7	37.5	33.7	3.8	37.4	43.7	△ 6.3
10月平均・積算	11.5	11.0	0.5	16.0	15.8	0.2	7.0	6.4	0.6	114.0	103.7	10.3	113.8	142.6	△ 28.8

農耕期間積算値(5月～9月)

区別	平均気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(h)
本年	2704	597	846
平年	2688	530	869
比較	16	67	△ 23

季節調査(年、月、日)

区別	根雪初日	根雪終日	降雪終日	耕 鋤 始	晩 霜	初 霜	降雪初日
本年	H24. 11.18	H25. 4.20	H25. 4.19	H25. 5.8	H25. 5.9	H25. 10.17	H25. 11.11
平年	11.29	4.8	4.14	5.5	5.7	10.16	11.8
比較	△ 11	12	5	3	2	1	3

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は平成15～24年の10ヶ年平均値。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

注3) 季節調査は、岩見沢測候所閉鎖にともない、平成18年以降はアメダス岩見沢の観測値から推定した。

II 作 況

最終報告 やや不良

事由:根雪終日が平年に比べかなり遅かったため、圃場作業の開始は遅れた。播種は平年並の4月18日に行った。

播種日からやや低温に経過したため、出芽始めまでに日数を要した。その後も平年を下回る気温と日照時間で経過したため、生育は緩慢で、苗は平年に比べ葉数、草丈ともに少なく、乾物重、充実度も劣った。移植はほぼ平年並の5月20日に行った。

移植後、6月上・中旬は高温・多照に経過したことから、生育は回復、促進された。分げつの発生も旺盛となり、茎数は平年並みから上回った。そのため、幼穂形成期は平年に比べ5日から6日早かった。幼穂形成期以降も7月上・中旬は高温、多照に推移したことから、出穂期は、平年より7日から8日早かった。

登熟期間中の気温はほぼ平年並で推移したものの、日照時間は平年より少なく、登熟日数は平年並からやや長かった。成熟期は、平年に比べ5日から8日早かった。

成熟期における穂数は、平年比98～110%と、平年並から上回り、一穂粒数は平年比101～103%と平年並からやや上回った。㎡当たりの粒数は99～114%と平年並から多く、稔実歩合は平年より0.7～6.5ポイント高かったが、登熟歩合は2.2～12.2ポイント低かった。そのため、㎡当たりの登熟粒数は平年比96～97%と、平年をやや下回った。粗玄米重は「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ61.7kg/a、62.9kg/aで、平年比100%、99%と平年並であった。千粒重は、平年比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ103%、104%と平年をやや上回ったが、屑米歩合はそれぞれ1.0、1.2ポイント平年を上回った。その結果、精玄米重は「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ56.6kg/a、57.4kg/aで、平年比99%、97%と平年並からやや下回った。

検査等級は、「きらら397」が2等中、「ななつぼし」が1等下と、平年並であった。落等の要因は、「きらら397」で充実度不足および腹白の発生、「ななつぼし」で充実度不足であった。

以上のことから、本年の作況は、やや不良である。

注) 作況指数(収量平年比)と作柄の判定基準 (農林水産省の統計基準による)

作況指数	～90	91～94	95～98	99～101	102～105	106～
作柄	著しい不良	不良	やや不良	平年並	やや良	良

項目	品種名・ 苗種	きらら397 中苗			ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗(参考)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年 (前4ヶ年)	比較	
播種期	(月.日)	4.18	4.18	0	4.18	4.18	0	4.18	4.18	0
移植期	(月.日)	5.20	5.21	△ 1	5.20	5.21	△ 1	5.20	5.20	0
幼穂形成期	(月.日)	7.02	7.07	△ 5	6.29	7.05	△ 6	6.30	7.05	△ 5
止葉始	(月.日)	7.14	7.21	△ 7	7.11	7.18	△ 7	7.12	7.17	△ 5
出穂期	(月.日)	7.26	8.03	△ 8	7.25	8.01	△ 7	7.24	7.31	△ 7
成熟期	(月.日)	9.18	9.23	△ 5	9.12	9.20	△ 8	9.14	9.18	△ 4
穂揃日数	(日)	6.0	5.8	0.2	6.0	6.2	△ 0.2	6.0	6.5	△ 0.5
登熟日数	(日)	54	51	3	49	50	△ 1	52	49	3
生育日数	(日)	153	158	△ 5	147	155	△ 8	149	153	△ 4
移植時地上部乾物重(g/100本)		1.85	2.19	△ 0.34	1.80	2.27	△ 0.47	1.84	2.19	△ 0.35
草丈 (cm)	移植時	9.7	10.5	△ 0.8	9.4	10.6	△ 1.2	10.2	10.6	△ 0.4
	6月20日	27.1	23.9	3.2	29.8	24.5	5.3	30.9	26.2	4.7
	7月20日	65.1	60.7	4.4	71.7	66.3	5.4	74.8	68.3	6.5
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	340	288	52	295	292	3	355	322	33
	7月20日	805	782	23	733	808	△ 75	853	833	20
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.1	3.3	△ 0.2	2.8	3.2	△ 0.4	3.0	3.2	△ 0.2
	6月20日	7.5	6.7	0.8	7.3	6.6	0.7	7.7	7.0	0.7
	7月20日	11.0	10.6	0.4	10.2	10.2	0.0	10.4	10.7	△ 0.3
	止葉	11.0	11.0	0.0	10.2	10.4	△ 0.2	10.4	10.8	△ 0.4
稈長	(cm)	64.4	65.4	△ 1.0	71.8	70.2	1.6	69.3	68.6	0.7
穂長	(cm)	17.0	16.5	0.5	17.0	16.5	0.5	17.4	17.1	0.3
穂数	(本/m ²)	738	668	70	703	716	△ 13	798	718	80
一穂粒数	(粒)	49.8	48.2	1.6	54.8	54.3	0.5	49.8	43.8	6.0
m ² 当粒数	(百粒)	368	322	46	385	389	△ 4	397	314	83
稔実歩合	(%)	90.2	89.5	0.7	92.8	85.9	6.9	88.7	91.0	△ 2.3
登熟歩合	(%)	69.0	81.2	△ 12.2	75.6	77.8	△ 2.2	67.0	82.3	△ 15.3
籾摺歩合	(%)	74.6	76.3	△ 1.7	75.0	76.4	△ 1.4	72.3	76.1	△ 3.8
屑米歩合	(%)	8.3	7.3	1.0	8.7	7.5	1.2	11.4	6.7	4.7
千粒重	(g)	23.6	22.9	0.7	22.7	21.8	0.9	23.3	22.7	0.6
わら重	(kg/a)	66.5	62.0	4.5	68.7	69.9	△ 1.2	71.1	63.2	7.9
精籾重	(kg/a)	75.9	75.2	0.7	76.5	77.1	△ 0.6	75.4	72.8	2.6
精玄米重	(kg/a)	56.6	57.4	△ 0.8	57.4	58.9	△ 1.5	54.5	55.4	△ 0.9
収量平年対比	(%)	99	100	△ 1	97	100	△ 3	98	100	△ 2
検査等級		2中	2上	—	1下	2上	—	2上	2上	—

注1)「きらら397」の平年値は前7ヶ年中、平成20年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2)「ななつぼし」の平年値は前7ヶ年中、平成23年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注3)平成21年より「ゆめびりか」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注4)「ほしのゆめ」(中苗紙筒)の調査は、平成24年で中止した。

注5)耕種概要

土 壤 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播 種 量 : 中苗紙筒=130cc/箱 栽植密度 : 30×13.3cm 25株/m² 4本植え

移植方法 : 手植え 反 復 : 2

注6)刈り取り面積は一区3.6m²、精籾重、精玄米重は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

畑作の部

平成25年11月作況①
(赤字下線が訂正部分)

作物G(長沼町)

I 気象概況

平成24年9月から平成25年10月までの概況は次ぎのとおりである。

平成24年

9月:平均気温は20.9℃で平年より4.1℃高く、降水量は平年の221%、日照時間は平年の92%であった。
 10月:平均気温は11.8℃で平年より1.5℃高く、降水量は平年の80%、日照時間は平年の90%であった。
 11月:平均気温は3.6℃で平年と同じで、降水量は平年の185%、日照時間は平年の74%であった。
 12月:平均気温は-5.5℃で平年より2.1℃低く、降水量は平年の254%、日照時間は平年の82%であった。

平成25年

1月:平均気温は-9.9℃で平年より3.3℃低く、降水量は平年の94%、日照時間は平年の129%であった。
 2月:平均気温は-7.4℃で平年より1.8℃低く、降水量は平年の143%、日照時間は平年の107%であった。
 3月:平均気温は-1.7℃で平年より0.6℃低く、降水量は平年の121%、日照時間は平年の87%であった。
 4月:平均気温は4.6℃で平年より0.8℃低く、降水量は平年の92%、日照時間は平年の66%であった。
 5月:平均気温は9.9℃で平年より1.4℃低く、降水量は平年の95%、日照時間は平年の77%であった。
 6月:平均気温は16.2℃で平年より0.1℃低く、降水量は平年の107%、日照時間は平年の108%であった。
 7月:平均気温は20.6℃で平年より1.3℃高く、降水量は平年の32%、日照時間は平年の116%であった。
 8月:平均気温は21.5℃で平年より0.1℃高く、降水量は平年の137%、日照時間は平年の74%であった。
 9月:平均気温は17.0℃で平年より0.4℃低く、降水量は平年の168%、日照時間は平年の83%であった。
 10月:平均気温は11.0℃で平年より0.6℃高く、降水量は平年の127%、日照時間は平年の69%であった。

本年の根雪終日は4月11日で平年より6日遅く、晩霜は4月21日で平年より6日早かった。

以上、農耕期間の4月から10月についてまとめると、気温は7月が高く、5月が低く経過した。降水量は8月が多く、7月は少なく経過した。日照時間は7月が多く、4月、5月、8月、9月及び10月が少なく経過した。ら9月までの積算値は、平年と比べ、平均気温は13℃低く、降水量は平年の115%、日照時間が90%であ

農耕期間の積算値

項目		平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	日照時間 (hr)	降水量 (mm)
4～10月	本年	3,075	4,198	2,171	889	758
	平年	3,094	4,223	2,128	1058	668
	比較	△ 19	△ 25	43	△ 169	92
5～9月	本年	2,605	3,435	1,972	691	608
	平年	2,618	3,419	1,954	764	528
	比較	△ 13	16	18	△ 73	77

季節表(中央農試本場)

年次	初霜 (年.月.日)	根雪始 (年.月.日)	融雪剤根雪終 (年.月.日)	通常の根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)	初霜 (年.月.日)	無霜期間 (日)
本年	H24.10.25	H24.11.22	H25.4.8	H25.4.11	141	H25.4.19	H25.4.22	H25.4.21	H25.10.19	180
平年	10.23	12.8	3.31	4.5	119	4.22	4.15	4.27	10.24	179
比較	2	△ 16	8	6	22	△ 3	7	△ 6	△ 5	1

注1) 平年値は中央農試における平成15年～24年の10年間の平均値を用いた(初霜、根雪始は平成14～23年の平均値)。

注2) 積雪期間の平年値にはうるう年を含むため、根雪始・終の差と一致しない。

平成25年11月作況②
(赤字下線が訂正部分)

気象表

道総研中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平成24年	9月上旬	22.6	19.4	3.2	27.5	24.5	3.0	18.8	15.0	3.8	91.0	63.9	27.1	3.0	4.0	△1.0	<u>61.8</u>	50.4	<u>11.4</u>
	9月中旬	22.7	17.2	5.5	27.5	22.8	4.7	18.7	12.1	6.6	145.0	27.4	117.6	4.0	3.4	0.6	<u>47.7</u>	55.2	<u>△7.5</u>
	9月下旬	17.2	14.0	3.2	22.2	19.8	2.4	13.0	8.8	4.2	37.5	32.6	4.9	2.0	3.9	△1.9	<u>37.4</u>	54.8	<u>△17.4</u>
10月	10月上旬	13.5	12.4	1.1	20.0	18.1	1.9	8.2	7.4	0.8	20.0	37.8	△17.8	2.0	5.5	△3.5	<u>51.7</u>	46.1	<u>5.6</u>
	10月中旬	10.9	10.5	0.4	15.7	16.3	△0.6	5.8	5.1	0.7	46.0	15.7	30.3	6.0	4.0	2.0	<u>43.3</u>	52.3	<u>△9.0</u>
	10月下旬	8.2	8.1	0.1	13.5	13.3	0.2	3.6	3.4	0.2	4.5	36.3	△31.8	7.0	4.9	2.1	<u>33.1</u>	43.4	<u>△10.3</u>
11月	11月上旬	7.8	6.6	1.2	10.9	11.5	△0.6	4.9	2.0	2.9	68.5	33.1	35.4	7.0	4.5	2.5	<u>24.2</u>	37.1	<u>△12.9</u>
	11月中旬	4.2	2.9	1.3	7.8	7.4	0.4	0.7	-0.9	1.6	41.0	30.3	10.7	6.0	5.3	0.7	<u>24.1</u>	30.9	<u>△6.8</u>
	11月下旬	-1.2	1.0	△2.2	2.9	5.0	△2.1	-5.2	-2.9	△2.3	49.5	24.8	24.7	8.0	4.9	3.1	<u>23.0</u>	28.2	<u>△5.2</u>
平成25年	12月上旬	-2.8	-1.4	△1.4	1.4	2.5	△1.1	-6.8	-5.8	△1.0	65.5	19.1	46.4	5.0	4.1	0.9	<u>19.2</u>	34.9	<u>△15.7</u>
	12月中旬	-5.8	-4.0	△1.8	-1.4	0.0	△1.4	-11.1	-8.7	△2.4	30.5	20.3	10.2	7.0	6.2	0.8	<u>19.8</u>	<u>26.7</u>	<u>△6.9</u>
	12月下旬	-7.9	-5.1	△2.8	-3.1	-0.9	△2.2	-14.1	-10.3	△3.8	30.5	17.8	12.7	7.0	5.8	1.2	<u>33.3</u>	<u>26.4</u>	<u>6.9</u>
1月	1月上旬	-11.2	-5.5	△5.7	-4.5	-1.2	△3.3	-19.1	-11.2	△7.9	29.0	22.2	6.8	5.0	4.2	0.8	<u>45.6</u>	<u>28.2</u>	<u>17.4</u>
	1月中旬	-10.1	-7.5	△2.6	-4.6	-2.7	△1.9	-17.4	-13.6	△3.8	34.5	29.9	4.6	6.0	3.9	2.1	<u>32.2</u>	<u>26.3</u>	<u>5.9</u>
	1月下旬	-8.4	-6.8	△1.6	-1.4	-1.6	0.2	-16.4	-13.0	△3.4	3.5	19.2	△15.7	1.0	3.9	△2.9	<u>45.8</u>	<u>41.1</u>	<u>4.7</u>
2月	2月上旬	-5.5	-6.4	0.9	-0.2	-1.2	1.0	-12.2	-12.9	0.7	16.0	13.8	2.2	7.0	3.9	3.1	<u>28.3</u>	<u>41.8</u>	<u>△13.5</u>
	2月中旬	-8.0	-5.6	△2.4	-2.0	-0.6	△1.4	-14.9	-12.0	△2.9	21.0	20.1	0.9	7.0	4.8	2.2	<u>46.9</u>	<u>36.4</u>	<u>10.5</u>
	2月下旬	-8.9	-4.5	△4.4	-0.6	0.9	△1.5	-17.4	-11.3	△6.1	32.0	14.5	17.5	4.0	3.7	0.3	<u>50.1</u>	<u>39.2</u>	<u>10.9</u>
3月	3月上旬	-2.8	-3.3	0.5	2.2	2.2	0.0	-8.0	-9.3	1.3	24.5	16.8	7.7	7.0	2.9	4.1	<u>35.3</u>	<u>51.9</u>	<u>△16.6</u>
	3月中旬	-1.3	-1.0	△0.3	3.4	3.9	△0.5	-7.9	-6.1	△1.8	25.0	14.9	10.1	8.0	3.5	4.5	<u>26.8</u>	<u>41.7</u>	<u>△14.9</u>
	3月下旬	-1.2	0.7	△1.9	4.1	5.4	△1.3	-7.3	-4.0	△3.3	6.0	14.2	△8.2	3.0	3.3	△0.3	<u>71.5</u>	<u>60.0</u>	<u>11.5</u>
4月	4月上旬	3.1	3.0	0.1	7.7	8.2	△0.5	-1.8	-1.9	0.1	25.5	10.8	14.7	5.0	2.6	2.4	<u>39.0</u>	<u>52.9</u>	<u>△13.9</u>
	4月中旬	4.3	5.6	△1.3	9.3	11.1	△1.8	0.6	0.7	△0.1	8.5	18.5	△10.0	4.0	1.8	2.2	<u>33.7</u>	<u>53.4</u>	<u>△19.7</u>
	4月下旬	6.5	7.6	△1.1	11.1	13.2	△2.1	2.5	2.6	△0.1	16.5	25.6	△9.1	4.0	2.9	1.1	<u>27.9</u>	<u>46.4</u>	<u>△18.5</u>
5月	5月上旬	5.9	10.1	△4.2	10.9	15.7	△4.8	1.5	4.8	△3.3	28.5	30.8	△2.3	5.0	2.9	2.1	<u>47.5</u>	<u>56.6</u>	<u>△9.1</u>
	5月中旬	9.5	10.8	△1.3	15.1	16.4	△1.3	5.7	5.5	0.2	31.0	22.7	8.3	6.0	2.8	3.2	<u>26.2</u>	<u>56.9</u>	<u>△30.7</u>
	5月下旬	13.8	12.7	1.1	20.1	18.3	1.8	8.6	8.0	0.6	10.0	19.6	△9.6	4.0	2.0	2.0	<u>58.5</u>	<u>58.4</u>	<u>0.1</u>
6月	6月上旬	15.4	14.7	0.7	23.2	20.4	2.8	10.3	10.0	0.3	0.5	14.4	△13.9	1.0	1.9	△0.9	<u>84.8</u>	<u>53.8</u>	<u>31.0</u>
	6月中旬	17.3	16.1	1.2	22.3	21.3	1.0	14.1	12.0	2.1	62.0	29.5	32.5	4.0	1.6	2.4	<u>26.4</u>	<u>48.1</u>	<u>△21.7</u>
	6月下旬	15.9	18.1	△2.2	20.9	23.5	△2.6	11.3	14.0	△2.7	12.0	25.7	△13.7	1.0	1.5	△0.5	<u>53.4</u>	<u>50.6</u>	<u>2.8</u>
7月	7月上旬	21.0	18.5	2.5	26.3	23.5	2.8	17.0	14.8	2.2	16.0	33.5	△17.5	4.0	1.8	2.2	<u>50.1</u>	<u>40.3</u>	<u>9.8</u>
	7月中旬	19.9	18.9	1.0	26.2	23.2	3.0	15.3	15.5	△0.2	0.0	38.1	△38.1	0.0	1.8	△1.8	<u>65.5</u>	<u>38.5</u>	<u>27.0</u>
	7月下旬	20.8	20.3	0.5	25.8	25.3	0.5	17.5	16.5	1.0	18.5	34.9	△16.4	5.0	1.4	3.6	<u>34.6</u>	<u>50.7</u>	<u>△16.1</u>
8月	8月上旬	22.0	22.3	△0.3	27.0	27.3	△0.3	18.5	18.7	△0.2	22.5	41.8	△19.3	2.0	1.9	0.1	<u>43.2</u>	<u>49.9</u>	<u>△6.7</u>
	8月中旬	23.5	21.5	2.0	28.0	26.3	1.7	20.6	17.8	2.8	71.0	46.1	24.9	6.0	2.2	3.8	<u>30.6</u>	<u>45.9</u>	<u>△15.3</u>
	8月下旬	19.3	20.5	△1.2	24.6	25.5	△0.9	15.4	16.2	△0.8	88.5	44.7	43.8	8.0	2.2	5.8	<u>39.7</u>	<u>57.4</u>	<u>△17.7</u>
9月	9月上旬	18.6	19.7	△1.1	23.0	24.8	△1.8	15.1	15.4	△0.3	44.0	72.8	△28.8	5.0	1.9	3.1	<u>38.6</u>	<u>50.3</u>	<u>△11.7</u>
	9月中旬	18.1	17.9	0.2	23.3	23.4	△0.1	13.1	13.1	0.0	140.0	40.8	99.2	4.0	2.2	1.8	<u>41.4</u>	<u>53.5</u>	<u>△12.1</u>
	9月下旬	14.2	14.4	△0.2	19.7	20.0	△0.3	9.0	9.3	△0.3	60.5	32.4	28.1	3.0	2.4	0.6	<u>50.6</u>	<u>53.2</u>	<u>△2.6</u>
10月	10月上旬	14.2	12.3	1.9	19.5	18.1	1.4	9.2	7.3	1.9	7.5	32.2	△24.7	2.0	2.5	△0.5	<u>33.8</u>	<u>48.3</u>	<u>△14.5</u>
	10月中旬	9.7	10.5	△0.8	14.7	16.2	△1.5	4.3	5.2	△0.9	72.5	20.4	52.1	7.0	2.4	4.6	<u>32.4</u>	<u>50.0</u>	<u>△17.6</u>
	10月下旬	9.1	8.3	0.8	14.0	13.6	0.4	4.9	3.5	1.4	24.0	29.7	△5.7	5.0	3.2	1.8	<u>31.3</u>	<u>43.1</u>	<u>△11.8</u>
11月	11月上旬	7.0	7.2	△0.2	12.5	12.0	0.5	2.2	2.6	△0.4	79.5	35.1	44.4	5.0	3.2	1.8	<u>26.4</u>	<u>36.2</u>	<u>△9.8</u>
	11月中旬	2.6	3.4	△0.8	7.4	7.7	△0.3	-1.8	-0.4	△1.4	25.5	30.1	△4.6	6.0	3.9	2.1	<u>30.5</u>	<u>30.3</u>	<u>0.2</u>

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。
 注2) 平年値は過去10年間の平均値。
 注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
 注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント
 注5) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(平成24年播種)

平成25年11月20日作況(最終):不良

事由:播種期は平年より3日遅かったが、好天と適度な降雨に恵まれたため出芽は良好で、出芽期は平年より1日遅い9月27日であった。その後、気温が平年より高く推移したため生育は順調で、越冬前の茎数は平年並であった。根雪終(融雪剤散布)は平年より8日遅い4月8日で、雪腐病による冬損程度、越冬後の茎数は平年並であった。4月中旬以降、低温に推移したため草丈は平年を下回り、生育も遅れた。7月上旬以降、高温に推移したため登熟が進み、成熟期は平年より2日早い7月20日で、登熟期間は平年より5日短かった。成熟期における穂長は平年並で、稈長は平年より短く、穂数は大きく下回り、子実重は平年対比85%と低収であった。子実の品質は平年並の2等であった。

以上により、本年の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(H24.月.日)	9.20	9.17	3
出芽期	(H24.月.日)	9.27	9.26	1
出穂期	(H25.月.日)	6.11	6.8	3
成熟期	(H25.月.日)	7.20	7.22	△ 2
冬損程度	(0:無~5:甚)	0.5	1.0	△ 0.5
草丈 (cm)	H24.10.20	21.8	17.0	4.8
	H25.5.20	33.2	45.0	△ 11.8
	H25.6.20	94.7	101.0	△ 6.3
茎数 (本/m ²)	H24.10.20	575	589	△ 14
	越冬前(11月)	1236	1256	△ 20
	越冬後(4月)	1883	1825	58
	H25.5.20	1451	1457	△ 6
	H25.6.20	785	856	△ 71
成熟期に おける	稈長 (cm)	86.9	92.0	△ 5.1
	穂長 (cm)	9.0	9.0	△ 0.0
	穂数 (本/m ²)	687	788	△ 101
倒伏程度	(0:無~5:甚)	0.0	1.0	△ 1.0
子実重	(kg/10a)	638	755	△ 117
容積重	(g/l)	818	803	14.6
千粒重	(g)	37.6	38.0	△ 0.4
品質	(等級)	2等	2等	-
子実重平年対比	(%)	85	100	△ 15

注1) 平年値:前7か年中、平成20年(最凶)、平成19年(最豊)を除く5か年平均(収穫年度)。

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

2. 春まき小麦

11月20日（最終）：不良

事由：融雪剤使用圃場の根雪終は平年より8日遅い4月8日であった。播種期は平年より5日遅い4月22日となり、4月下旬～5月上旬は低温・寡照で推移したため、出芽期は平年より9日遅い5月9日となった。出芽後も低温・寡照で推移し生育が緩慢となったため、5月中旬時点で草丈および茎数は平年を下回り、分けつも発生しなかった。5月下旬から6月中旬は高温で推移して生育の遅れはほぼ回復し、出穂期は1日の遅れに止まったが、6月中旬にまとまった降水があるまでやや干ばつ気味となったため、茎数は平年より多かったものの、草丈は平年より短かった。6月下旬から7月中旬は少雨に経過したため茎の無効化が進み、穂長は平年並であるが、稈長が平年よりやや短く、穂数は平年の90%と少なく、遅れ穂も多く認められた。成熟期および登熟日数は平年並となったが、子実重は平年比80%と平年を大きく下回り、千粒重も平年を下回った。穂数が平年より少なかったことに加え、一穂粒数が平年より少ないものと推察された。倒伏は認められなかった。子実調整後の検査等級は1等であった。

以上により、本年の作況は不良である。

項目 \ 年次	品種名	春よ恋			はるきらり(参考)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.22	4.17	5	4.22	4.17	5
出芽期	(月.日)	5.09	4.30	9	5.09	4.30	9
出穂期	(月.日)	6.21	6.20	1	6.19	6.18	1
成熟期	(月.日)	8.01	8.01	0	8.01	8.02	△ 1
草丈 (cm)	5月20日	11.5	20.9	△ 9.4	12.2	23.1	△ 10.9
	6月20日	68	82	△ 14	67	80	△ 13
茎数 (本/m ²)	5月20日	330	601	△ 271	339	627	△ 288
	6月20日	864	755	109	840	695	145
7月20日 または 成熟期 の	稈長 (cm)	90	95	△ 5	85	94	△ 9
	穂長 (cm)	8.4	8.5	△ 0.1	7.3	8.0	△ 0.7
	穂数 (本/m ²)	481	534	△ 53	480	520	△ 40
子実重	(kg/10a)	409	510	△ 101	363	501	△ 138
千粒重	(g)	38.8	39.9	△ 1.1	42.5	42.8	△ 0.3
リットル重	(g)	811	799	12	807	803	4
品質	(等級)	1	2		2	2	
子実重平年対比	(%)	80	100	△ 20	73	100	△ 27

注) 平年値は前7カ年中、平成23年(最凶)、平成24年(最豊)を除く5カ年平均。

「はるきらり」は前6カ年平均。

リットル重は1リットル升による測定。

3. 大豆

11月20日（最終）：良

事由：播種期と出芽期は平年並であった。6月～7月にかけての降水量が少なく生育が停滞したため、平年と比べて主茎長が短かった。開花期は「トヨムスメ」が平年並、「スズマル」は平年より2日早かった。着莢数は「トヨムスメ」が平年より14%、「スズマル」は7%多かった。一莢内粒数は「トヨムスメ」が平年よりやや多く、「スズマル」は平年並であった。百粒重は両品種ともに平年よりやや軽かった。子実重は着莢数が多かったことにより「トヨムスメ」は417kg/10aで対平年比112%、「スズマル」が388kg/10aで対平年比112%であった。屑の発生は平年よりやや少なかった。品質は両品種ともに平年をやや上回った。

以上により、本年の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ			スズマル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.03	6.03	0	6.02	6.02	0
開花期	(月.日)	7.14	7.15	△ 1	7.21	7.23	△ 2
成熟期	(月.日)	9.29	9.27	2	10.01	9.29	2
主茎長 (cm)	6月20日	13.3	11.8	1.5	9.9	8.4	1.5
	7月20日	45.2	50.6	△ 5.4	34.7	41.5	△ 6.8
	8月20日	49.1	58.3	△ 9.2	57.7	63.0	△ 5.3
	9月20日	49.9	57.9	△ 8.0	58.6	63.7	△ 5.1
	成熟期	49.9	57.6	△ 7.7	58.6	64.6	△ 6.0
主茎節数 (節)	6月20日	3.3	3.1	0.2	3.6	3.3	0.3
	7月20日	9.3	9.7	△ 0.4	11.4	11.7	△ 0.3
	8月20日	9.7	10.0	△ 0.3	13.6	14.2	△ 0.6
	9月20日	9.7	10.0	△ 0.3	14.0	13.7	0.3
	成熟期	9.7	10.0	△ 0.3	14.0	14.0	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	7.2	6.0	1.2	8.2	8.7	△ 0.5
	8月20日	8.0	6.6	1.4	12.1	11.0	1.1
	9月20日	8.1	6.3	1.8	12.0	10.4	1.6
	成熟期	8.1	6.0	2.1	12.0	10.0	2.0
着莢数 (莢/株)	8月20日	73.8	66.3	7.5	148.4	138.5	9.9
	9月20日	71.4	61.4	10.0	143.4	124.3	19.1
	成熟期	69.5	61.1	8.4	132.2	124.0	8.2
一莢内粒数		1.94	1.79	0.15	2.35	2.42	△ 0.07
子実重	(kg/10a)	417	372	45	388	345	43
百粒重	(g)	39.5	41.1	△ 1.6	14.5	15.0	△ 0.5
屑粒率	(%)	1.4	2.4	△ 1.0	1.1	1.6	△ 0.5
品質	(等級)	2中	3中		2上	2中	
子実重平年対比	(%)	112	100	12	112	100	12

注) 平年値は前7カ年中、平成21年(最凶)、20年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

最終作況 不良

事由：播種期が平年より3日遅い5月28日であり、出芽期は平年より1日遅い6月12日であった。6月下旬から8月上旬まで少雨に経過し、また7月に入り夏日が続いたため、干ばつ気味に推移した。このため、主茎長が平年より短く推移し、個体全体としての生育量は少なかった。開花期が平年より1日早い7月22日であり、成熟期は平年より2日早い9月2日であった。成熟期の主茎長は平年より短く、主茎節数がやや多く、分枝数は少なかった。上位節の着莢が少なく、着莢数は平年を大きく下回り、百粒重が平年より重かったものの一莢内粒数は少なく、子実重は平年比75%と低収であった。成熟期前の8月中旬～下旬の降雨が多かったため屑粒率が高く、検査等級は劣った。

品種名 項目 \ 年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.28	5.25	3
出芽期	(月.日)	6.12	6.11	1
開花期	(月.日)	7.22	7.23	△ 1
成熟期	(月.日)	9.02	9.04	△ 2
主茎長 (cm)	6月20日	3.8	3.7	0.1
	7月20日	21.3	24.3	△ 3.0
	8月20日	49.7	65.4	△ 15.7
	成熟期	49.2	65.0	△ 15.8
主茎節数 (節)	6月20日	1.9	1.5	0.4
	7月20日	9.2	9.3	△ 0.1
	8月20日	14.4	13.4	1.0
	成熟期	14.2	13.4	0.8
分枝数 (本/株)	7月20日	4.5	4.4	0.1
	8月20日	4.0	4.6	△ 0.6
	成熟期	3.8	4.5	△ 0.7
着莢数 (莢/株)	8月20日	31.5	55.6	△ 24.1
	成熟期	33.0	53.9	△ 20.9
一莢内粒数		5.44	5.94	△ 0.50
子実重	(kg/10a)	219	291	△ 72
百粒重	(g)	14.4	12.4	2.0
屑粒率	(%)	11.1	2.9	8.2
品質	(等級)	4中	3下	—
子実重平年対比	(%)	75	100	△25

注1) 平年値は前7カ年中、平成20年(最豊)、平成18年(最凶)を除く5カ年平均。

注2) 子実重および百粒重は子実水分15%に補正後の数値。

5. ばれいしょ

11月20日（最終）：平年並

事由：本年の根雪終は平年より6日遅い4月11日（融雪剤無散布）であったが、平年より少雨であったことから植付期は平年より5日早い4月24日であった。植付け後、4月下旬から5月中旬は低温で推移したため、萌芽期は平年より8日遅い5月30日となった。5月下旬から高温で推移したため生育はほぼ回復したが、6月中旬時点の茎長はやや短く、開花始は平年より4日遅い6月25日であった。7月上旬からの高温・多照により生育はさらに回復し、7月中旬時点で茎長、茎数とも平年並となった。

枯凋期は8月26日と平年より5日遅れた。枯凋期における1株当たり上いも数は平年よりやや少なく、上いも平均一個重がやや重いため、上いも重は平年並となり、中以上いも重は平年よりやや多くなった。でん粉価は平年並であった。中心空洞等の内部障害の発生は少なかった。

以上により、本年の作況は平年並である。

項目 \ 年次		男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.24	4.29	△ 5
萌芽期	(月.日)	5.30	5.22	8
開花始	(月.日)	6.25	6.21	4
枯凋期	(月.日)	8.26	8.21	5
茎長	6月20日	29.5	34.8	△ 5.3
(cm)	7月20日	48.4	46.8	1.6
茎数	6月20日	4.6	4.6	0.0
(本/株)	7月20日	4.3	4.4	△ 0.1
8月20日における				
上いも数	(個/株)	11.0	11.7	△ 0.7
上いも平均一個重	(g)	97	92	5
上いも重	(kg/10a)	4741	4734	8
でん粉価	(%)	14.7	14.6	0.1
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	11.1	12.2	△ 1.1
上いも平均一個重	(g)	100	88	12
上いも重	(kg/10a)	4911	4751	160
中以上いも重	(kg/10a)	4407	3976	431
でん粉価	(%)	14.6	14.7	△ 0.1
上いも重平年対比	(%)	103	100	3
中以上いも重	" (%)	111	100	11
でん粉価	" (%)	99	100	△ 1

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最凶)、19年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上

耕種概要

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

	一区面積 (m ²)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/m ²)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	9.6	4	ひまわり	20	条播	—	255	—
春まき小麦	7.2	4	ひまわり	30	条播	—	340	—
大豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	えん麦	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	ひまわり	75	30	—	—	4,444

	10a当たり施肥量(kg)				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
秋まき小麦	4.0+6.0	12.5	5.0	—	—
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—
大豆	1.5	11.0	7.5	3.5	—
小豆	4.0	19.2	9.2	2.4	—
ばれいしょ	10.4	16.8	14.0	—	1,000

中央農試作況報告について

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。